

何もかも捨てて

シリーズ～福音の力～

2020/1/26

ルカによる福音書5章27～32節

その後、イエスは出て行って、レビという徴税人が収税所に座っているのを見て、「わたしに従いなさい」と言われた。彼は何もかも捨てて立ち上がり、イエスに従った。そして、自分の家でイエスのために盛大な宴会を催した。そこには徴税人やほかの人々が大勢いて、一緒に席に着いていた。ファリサイ派の人々やその派の律法学者たちはつぶやいて、イエスの弟子たちに言った。「なぜ、あなたたちは、徴税人や罪人などと一緒に飲んだり食べたりするのか。」イエスはお答えになった。「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。」

徴税人レビ

「徴税人」とは

- イスラエルを支配していたローマ帝国のために、同胞から税金を徴収していた人々

なぜ徴税人は「罪人」呼ばわりされたのか

- 裏切り者：敵国の手先となっていた
- 金の亡者：決められた以上に取り立てていた
- 虎の威を借る狐：ローマの権威を利用した

「収税所」に座っていた

- 通行税や取引税を取り立てる場所



レビを召されたイエス様

収税所にいたレビを突然召されたイエス様

- 以前から知っておられたのか？
- 弟子の中にレビの知り合いがいたのか？
- ただ目が合っただけなのか？

「わたしに従いなさい」と言われた

- 前置きもなく唐突に命令された

レビは「何もかも捨てて」立ち上がり従った

- イエス様に声をかけられるのを待っていたのか？
- 徴税人を辞め、現状から抜け出したかった

医者が必要とするのは病人である

仲間を集めて大宴会を開いたレビ

- イエス様の弟子になれたことを自慢したかった？
- 徴税人卒業パーティ／金からの解放のしるし

つぶやいたファリサイ派・律法学者たち

- 「なぜ、あなたたちは、徴税人や罪人などと一緒に飲んだり食ったりするのか。」<汚れるから

病人(罪人)だと自覚した者だけが癒される

- 「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、**罪人を招いて悔い改めさせるためである。**」
- 罪人だと気づいていない者たちへの皮肉

イエス様の目的

「罪人を」

- 罪人であると自覚している人
- 自らの力ではどうにもならないと自覚している

「招いて」

- 強制ではなく本人の意志に委ねて

「悔い改めさせるため」

- 何もかも捨てて: 過去に決別する
- 立ち上がり: 決心する
- イエスに従った: 実際に行動する

救いのチャンス!

一人の徴税人として

- 金の支配・自己中心・間違った土台

収税所に座ったまま

- 何とかしたいが自力では抜け出せない

「私に従いなさい」と呼びかけておられるイエス様

- 過去に決別し
- 自らの意志で立ち上がり
- イエス様に従う(間違いの無い方向に進む)

福音の力

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。」ローマ1:16